



◀閉校記念式典



◀最後の1年



144年の歴史に幕一

山田小学校閉校

明治7年に創立した山田小学校が平成31年3月をもって144年の歴史に幕を閉じました。4月からは内牧小学校と統合し新たなスタートが切られます。

2月16日に行われた閉校式では、在校生や卒業生、地元の人たちなど約400人が参加。永年にわたって地域に根差した学校を偲びました。

式典では、小野正治校長が「閉校は残念だが子どもたちは思い出を胸に力強く育ってほしい」と式辞。児童によるお別れの言葉では、加来直央弥さんが「少人数でも一人一人が率先して取り組むことができるんなことわかった」と山田小学校での学びと感謝を述べました。

閉校のイベントでは、全校児童が学校での思い出や感謝の言葉を発表しました。また年代の離れた「卒業生によるトークコーナー」や地域住民と児童による「小倉の虎舞」が披露され、会場は笑顔と感動に包まれました。



4



3



2



1



6



5

学校沿革

明治7年 山田学校・今町学校創立

9年 小野田学校創立

12年 小野田学校が今町学校に合併

42年 山田・今町両校合併、山田尋常小学校と改称し従来の地に仮校舎設置

大正3年 山田尋常高等小学校と改称

小野田に新校舎落成、山田・今町仮教室廃止

6年 山田農業補習学校授業開始

昭和10年 山田村立山田青年学校併設

12年 南校舎（2階建て）12教室竣工

16年 山田国民学校と改称

22年 山田小学校と改称

24年 大字小倉字牧の内に学校林設置

26年 講堂新築竣工

29年 町村合併により阿蘇町立山田小学校に改称

37年 給食室竣工、完全給食開始

39年 プール竣工

46年 町給食センター配給の給食開始

49年 創立百周年式典

52年 健康優良努力賞として県より表彰

53年 校旗制定

55年 新校舎竣工

56年 体育館竣工、新築落成式挙行

63年 国旗掲揚台設置、山田小学校門柱新設



ありがとう山田小学校
参加者全員で
学び舎に
感謝



8



7

1_ 小野正治校長式辞 2_ 高宮今朝秀閉校
実行委員長あいさつ 3_ 児童代表の加来直
央弥さんによるお別れの言葉 4_ 佐伯知彦
PTA 会長あいさつ 5_ 卒業生のトークコ
ーナーでは昔話に花が咲いた 6,7_ 練習した
小倉の虎舞を披露 8_ 校歌斉唱のピアノ伴
奏は村上天さん 9_ 参加者全員で校歌斉唱
10_ 児童発表では山田小学校への感謝と思
い出を語った



10



9



阿蘇市立山田小学校

所在地 阿蘇市小野田 567 番地 2
創 立 明治 7 年
児童数 28 人 (H31.2 末現在)
卒業生数 約 4,054 人
校長 小野正治 教頭 鶴田史子

31 年 山田小学校 144 年の歴史に幕

優良 PTA 文部科学大臣表彰

30 年 山田小学校閉校実行委員会立ち上げ

PTA 例会で閉校と内牧小学校との先
行統合を協議

29 年 交通安全優良学校表彰

「山田小学校子ども育成協議会」立ち上げ

18 日から 5 月 6 日まで臨時休校、運動
会を 5 月から 9 月に延期

28 年 熊本地震で校舎や運動場に被害、4 月

27 年 フツ化物洗口を実施

25 年 土曜授業実施

17 年 町村合併により阿蘇市立山田小学校に改称
新校名の校旗制定

15 年 学校評議員委嘱

平成 3 年 プール竣工

田中ツナ文庫寄贈

平成31年度予算

財政局

☎ 22・3204

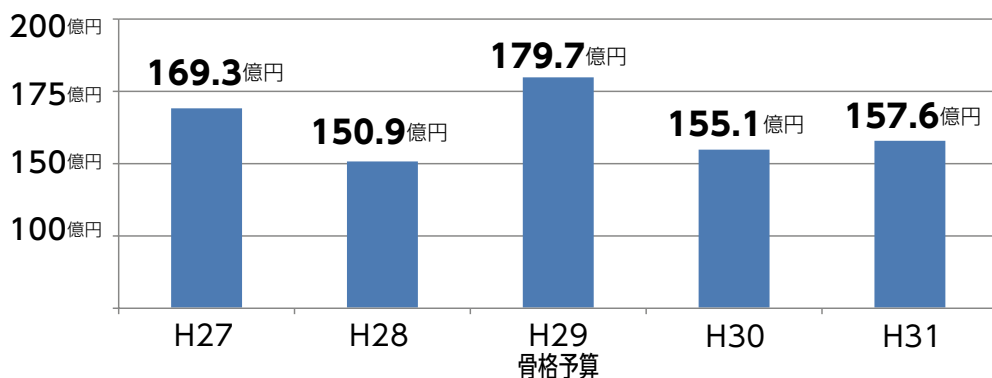
3月に開かれた第2回阿蘇市議会定例会で平成31年度当初予算が議決されました。

一般会計当初予算額は、157億6,197万円となり、熊本地震による災害復旧関連事業費等が減少したものの、普通建設事業費、公債費等が増加し、前年度比2億4,646万円の増となりました。これに特別会計と企業会計を加えた全会計の予算総額は、276億5,697万円となりました。

本年度も、市民の皆さまが安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを、より一層進めていきます。

一般会計 157億6,197万円 対前年度比 **↑1.6%**

一般会計当初予算の推移 (H27～H31の5カ年)



特別会計 80億4,635万円

企業会計 38億4,865万円

一般会計とは別に特定の収入支出により処理される会計

独立採算による特定の事業を経理する会計

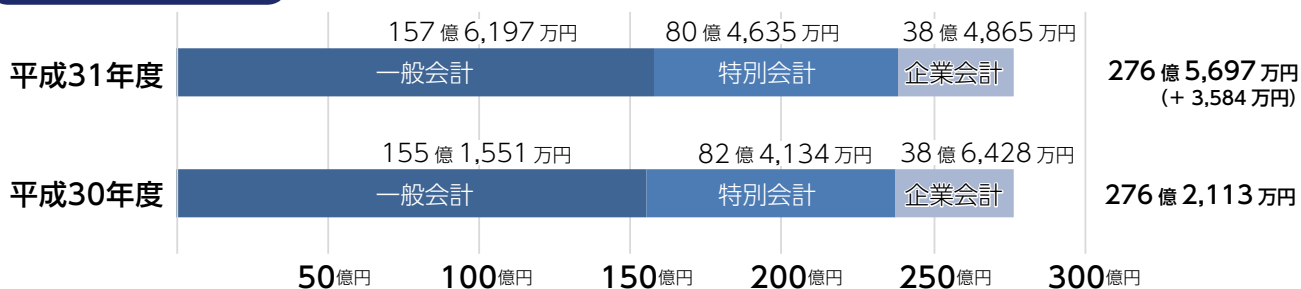
会計別予算額

国民健康保険事業	34億3,790万円
介護保険事業	33億9,929万円
下水道事業	6億5,875万円
後期高齢者医療事業	4億2,943万円
阿蘇山観光事業	8,800万円
財産区事業	3,298万円

会計別予算額

病院事業	28億3,824万円
水道事業	10億1,041万円

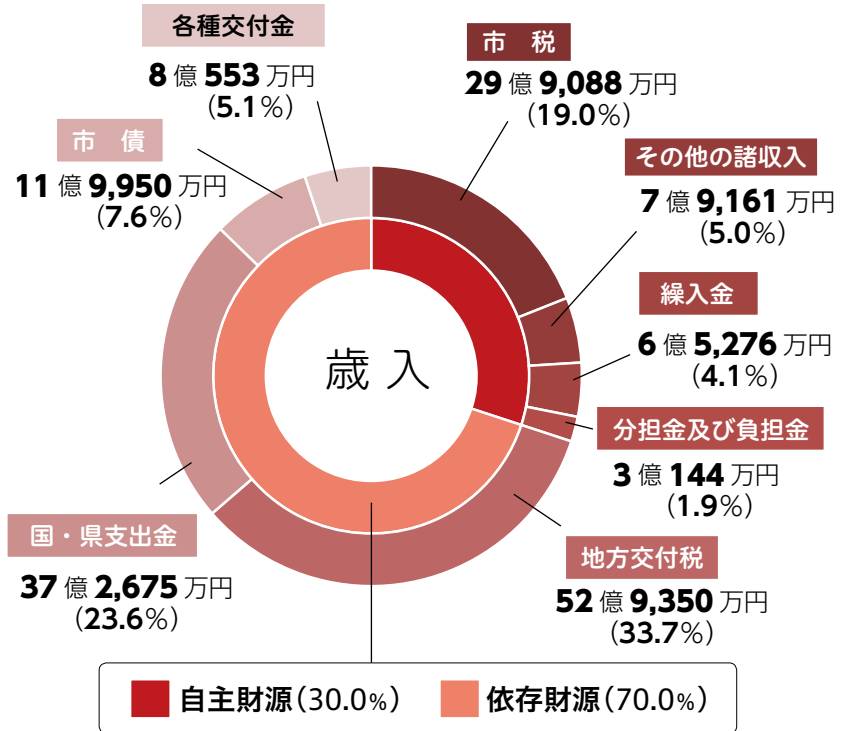
当初予算前年度比較



用語解説

- 市税
市民の皆さまから納めていただいた税金
- その他の収入
使用料、手数料、財産収入など
- 繰入金
特別会計などから繰り入れられるお金
- 分担金及び負担金
市の行う事業により利益を受ける方からその受益を限度として徴収するお金
- 地方交付税
どの地域に住む住民にも一定水準の行政サービスを提供できるよう国から交付されるお金
- 国・県支出金
特定の事業を行うために国や県から交付されるお金
- 市債
特定の事業を行うために借り入れるお金
- 各種交付金
国税や県税などとして集められたお金のうち一定の割合を市町村に交付するもの

平成 31 年度一般会計予算の内訳



●各種交付金の内訳

地方譲与税	1 億 8,936 万円	利子割交付金	400 万円	配当割交付金	555 万円
地方消費税交付金	5 億 600 万円	株式等譲渡所得割交付金	730 万円	ゴルフ場利用税交付金	2,940 万円
自動車取得税交付金	2,320 万円	地方特例交付金	2,051 万円	交通安全対策特別交付金	400 万円

用語解説

- 民生費
福祉の向上のために使われるお金
- 総務費
庁舎の維持管理や、徴税、選挙、統計など市の運営の一般的な業務に使われるお金
- 衛生費
健康づくりやごみ処理などに使われるお金
- 土木費
道路・橋・河川・公営住宅等の管理や整備などに使われるお金
- 公債費
市の借金返済に使われるお金
- 農林水産業費
農林畜産業の振興に使われるお金
- 教育費
学校等の維持管理や学校教育、社会教育、社会体育などの振興に使われるお金
- 消防費
消防や防災のために使われるお金
- 商工費
商工、観光の振興に使われるお金
- 災害復旧費
災害復旧のために使われるお金
- 議会費
議会運営のために使われるお金
- 予備費
予定外の支出へ対応するためのお金

